

最低賃金改定に向けた審議が本格スタート

令和8年度 第1回熊本地方最低賃金審議会

7月3日(金)、熊本地方合同庁舎共用会議室において、令和8年度 第1回熊本地方最低賃金審議会が開催されました。連合熊本からも5人が委員として審議に参画しています。

冒頭では、熊本地方最低賃金審議会の運営体制について協議が行われ、会長に本田悟士氏(弁護士)、会長代理に諏佐マリ氏(熊本大学法学部 准教授)が選出されました。

昨年、熊本県は全国で最も高い上昇額(+82円)となりましたが、中東情勢や円安による物価高騰の影響もあり、家計に十分な余裕を実感できる状況には至っていないとの見方もあります。

春季生活闘争では、企業全体として賃上げの動きが継続し、実際の賃上げ率も5%前後の高い水準が続いており、労働者側としては最低賃金についても昨年同

様大幅な引き上げを求めています。

8月7日(金)より公営・労働者・経営者の代表による専門部会が開催され金額審議がスタートし、これから8月下旬まで本格的な金額が審議されていきます。



本田悟士会長(右)へ諮問書を渡す金谷雅也労働局局長

ジェンダー平等の実現に向けた学びと交流の場

連合本部「男女平等講座」

7月24日(金)、連合本部において「連合 2026年度男女平等講座」が開催され、連合熊本からは女性委員会の古庄加奈幹事(JAM)が参加しました。

講座では、ジェンダー平等に関するトークセッションやグループディスカッションが行われ、映画『女性の休日』の鑑賞も実施されました。インターネットもない時代に、立場の異なる女性たちが連帯し、権利を獲得していく過程を描いた作品であり、鑑賞後には内容を踏まえたトークセッションが行われました。最後は「私はここからはじめる・組織と社会の景色を変える」をテーマに、グループディスカッションを実施しました。

今回の講座を通じて、参加者一人ひとりが自らの職場や地域で何ができるかを改めて考える機会となり、ジェンダー平等の実現に向けた意識向上につながりました。また、他産別の参加者との交流を通じ、今後の活動に生かせる学びや気づきも得られました。



グループワークの様子



会場全体の様子

編集後記

7月28日に発生した熊本地震では、県南部を中心に甚大な被害が生じ、今も多くの方が不安な日々を過ごされています。改めて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

10年前の出来事を決して忘れたわけではありません。しかし、まさか再びこのような事態が起こると思っても、地震による影響の大きさに胸が痛むばかりです。

これからの復旧には長い時間を要しますが、地域の力を信じ、職場・地域の課題解決に尽力し、困難な状況の中でも前を向いて歩み続ける皆さまの思いに寄り添いながら、ともに一歩ずつ前へ進んでいければと考えています。

Topics RENGOKUMAMOTO

連合熊本公式SNSのご案内

X(旧Twitter)



連合熊本



rengo_kumamoto



<https://twitter.com/RengoKumamoto> https://www.instagram.com/rengo_kumamoto/

私達とつながって下さい!



今後の主なスケジュール

8月31日 幸村県議代表質問

9月4-7日 平和行動in根室

5日 労福協「熊本県労福協第8回次世代リーダー研修会」

11日 連合熊本第11回執行委員会

10月28日 連合熊本第12回執行委員会

〃 連合熊本第29回地方委員会

[令和8年熊本地震ボランティア]

9月7日~10月30日



RENGO
KUMAMOTO

新たな社会をめざして

連合熊本

3811 情報

発行 日本労働組合総連合会

熊本県連合会

発行・編集責任者 徳富 幸平

編集者 東 郷史

〒862-0976

熊本市中央区九品寺1丁目17-9

☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017

印刷所 株式会社 チューイン

2026年8月27日発行 No. 406

支え合いの力を

7月28日(火)16時27分頃、熊本県熊本地方にてマグニチュード7.1の地震が発生し、熊本県宇城市及び氷川町にて震度7を観測。熊本県南部を中心に甚大な被害が発生しました。

犠牲になられた方々に謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。

今回の地震を受け、8月10日(月)連合本部より神保事務局長が来熊され、「連合・愛のカンパ」の目録を贈呈いただきました。温かい支援に、深く感謝申し上げます。

連合本部、連合熊本では災害対策本部を立ち上げ、被災状況の把握、行政との連携、支援物資の調整、相談体制の強化など、早期復旧に向けた取組を進めています。加えて、各構成組織・地域協議会とも緊密に連携し、ボランティア活動の調整や、職場・地域の課題把握、生活再建に向けた支援策の検討など、現場に寄り添ったサポートを継続してまいります。

また、被災された組合員やご家族の不安を少しでも軽減できるよう、労働相談窓口の体制強化や、雇用・労働環境に関する情報提供にも努めています。復旧・復興には長い時間を要しますが、連合として「助け合い・支え合い」の姿を体現し、社会的な役割を果たしていきます。

今後、被災された皆さまの生活再建と地域の復興に向け、連合熊本としてできる限りの取組を進めていきます。

令和8年熊本地震



連合本部 神保 政史事務局長より
連合熊本 山本 寛会長へ愛のカンパの目録贈呈



地震後の様子



地震後の道路の様子



天草宇城上益城地協事務所の様子



県南地協事務所の様子

世界の現状を学び、平和への思いを新たに

連合熊本第18回ピースアクション

連合熊本は、7月18日(土)、熊本県労働者福祉会館にて「連合熊本第18回ピースアクション」を開催しました。オープニングでは、開戦当初に玉東町へ避難されたウクライナの方の手記を、女性委員会中山副会長と山川幹事の2名で紹介し、その思いを参加者へ伝えていただきました。戦争によって日常を奪われた人々の切実な声は、平和の尊さを改めて胸に刻む時間となりました。

続く講演では、「現代の国際情勢について」を演題として、熊本大学法学部の阿部 悠貴准教授よりご講演をいただきました。講演では、チャーチル元英国首相の言葉を引用しながら、民主主義の理念と課題について解説いただきました。民主主義は多様性や自由を尊重する一方で、社会の統合の難しさや対立・格差を生みやすいという矛



オープニングで手記を紹介する女性委員会の山川幹事と中山副会長(右)



平和行動 in 沖縄の報告をする女性委員会 尾崎幹事・青年委員会 安武幹事

第21回統一地方選挙 連合熊本推薦候補者決定

※今後も新たな推薦候補が決まり次第お知らせします。年齢は発行日現在

熊本県議会
球磨郡選挙区

2027年4月実施



有馬 博士(52歳)
新人・立憲民主党
(人吉球磨地域協議会)

盾を内包する統治形態であることが示されました。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻については、ロシア側の視点と西側諸国の視点の双方から整理した説明があり、国際社会の認識の違いを解説、さらに、イスラエル・パレスチナ問題については、イスラエルを取り巻く情勢やガザ地区の現状について、複雑な背景を踏まえつつ分かりやすくお話いただきました。参加者からは「世界の動きを改めて考える機会になった」との声が寄せられ、平和への思いを新たにする講演となりました。

また、6月23日(火)～25日(木)に実施された「平和行動 in 沖縄」へ参加された女性委員会の尾崎幹事と青年委員会安武幹事より、沖縄戦に関して学んだことを報告されました。現地で感じた戦争の爪痕や、平和を次世代へ継



主催者挨拶する連合熊本 山本 寛会長



高校生平和大使による報告 山口 将悟さん・後藤 梨南子さん

承することの重要性について語られ、参加者一人ひとりが平和学習の意義を再確認する内容となりました。

さらに、高校生平和大使・スイス派遣メンバーの後藤 梨南子さん・長崎派遣メンバーの山口 将悟さん2人による活動報告も行われました。平和の大切さを訴えた経験や、同世代と交流した学びを伝えていただき、若い世代が平和への思いを力強く発信している姿に、会場からは大きな拍手が送られました。

今回のピースアクションは、戦争や紛争が続く世界の現状を見つめ直し、私たち一人ひとりが平和の実現に向けて何ができるかを考える貴重な機会となりました。連合熊本は、今後も平和への取組を継続し、行動してまいります。



講演する熊本大学 阿部 悠貴准教授



ピースアクション会場の様子

宇土市議会

10月4日投開票



藤井 慶峰(72歳)
現5期・無所属
(天草宇城上益城地域協議会)

平和への誓いを新たに

－平和行動 in 広島&長崎－

平和行動in広島

8月5日(水)、6日(木) に実施された「平和行動 in 広島」には4名が参加しました。参加者は、広島被爆地の歴史に触れ、改めて平和の尊さを深く胸に刻む機会となりました。

平和行動in広島参加者感想

- 被爆者の講話で実際に体験した状況等の説明をして頂き戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて実感しました。
- 中学生の修学旅行以来、約40年ぶりに平和記念公園を訪れ、変わらぬ景色の中で深い哀悼の念を抱きました。特に96歳の語り部の方の体験談は想像を絶する重みがあり、被爆者4世の学生が継承に努めている姿にも心を打たれました。自身の祖父も戦没者であることから、今回の経験を生かし、微力ながら次世代へ平和の大切さを語り継いでいきたいと感じました。
- 環境省の暑さ指数「危険」予測により一部行事は中止となったものの、連合2026平和ヒロシマ集会と原爆死没者慰霊式に参加しました。集会では、切明千枝子さんの「足元には遺族のもとに戻れない方々が眠っている」「平和は逃げていくからしっかり捕まえておいてください」という言葉が心に深く残り、平和の尊さを改めて実感しました。翌6日は広島平和記念公園内の会場から慰霊式・平和祈念式に参列し、黙とうを捧げました。今後も微力ながら核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて取り組んでいきたいと感じました。
- 平和慰霊式典への参加と2日間にわたる体験を通して、平和を訴え続ける大切さを感じることができました。

平和行動 in 広島参加者（敬称略）
松本 剛（電機連合）・吉田 勇人（JAM）・新先 邦幸（国公連合）・泉 秀明（連合熊本）

平和行動in長崎

8月8日(土)、9日(日) に実施された「平和行動 in 長崎」には8名が参加しました。

参加者は平和祈念式典やピースウォークを通じ、核兵器がもたらす深刻な

平和記念集会や式典への参加を通じて、被爆の実相を学び、当時の生活や人々の苦しみを伝える展示から、核兵器の非人道性と平和を守る責任の重さを強く感じました。

また、各産別へ依頼していた千羽鶴の献納や献水では、犠牲となった方々への追悼の思いを捧げるとともに、二

度と悲劇を繰り返さないという決意を新たにしました。

若い世代の参加も多く、平和の継承に向けた学びの場として大きな意義を持つ取組となりました。被爆の歴史を自らの目で確かめ、平和への思いを共有することは、連合が進める平和運動にとって大きな力となります。



平和行動in広島参加者



参加者で千羽鶴の献納



原爆ドーム



被爆体験証言 切明千枝子さん

被害と、平和を守るための国際社会の取組について理解を深めました。また、平和公園では犠牲となった方々への追悼を行い、恒久平和への誓いを新たにしました。さらに、現地での学習を通じて、戦争の悲惨さを自らの問題として捉える貴重な機会となりました。

今回の平和行動では、参加者同士が

平和行動in長崎参加者感想

- 初参加でしたが、慰霊と被爆の実相に触れ、戦争が日常や暮らしを奪う重さ、平和について考える貴重な二日間となりました。
- 改めて「平和な未来にする為に、今の自分は何が出来るのか」を考えさせられる日となりました。
- 平和祈念式典や資料館での学習を通じ、核兵器の非人道性を深く理解し、平和への思いをより強くしました。
- 被爆者の苦難と平和への強い願いに深く心を動かされた。長崎を最後の被爆地にするため、今、私達に何ができるのかを真摯に見つめ直す機会となった。
- 原爆投下は平和な日常を奪い、苦しみを残した「長崎を最後の被爆地に」という誓いを先ずは身内から伝えていきたい。
- 長崎で平和の尊さと戦争の悲惨さを深く実感し、次代へ語り継ぐ責任を改めて胸に刻む機会となりました。
- 長崎平和行動への参加を通じ、平和の大切さと平凡な日常を送れる幸福を再認識し、記憶を次世代へ繋ぐ決意を固めました。
- 今回、初めてこのような平和活動に参加させて頂いたが、とても有意義でした。被爆地の平和に対する熱い思いも感じ取る事が出来たのでまたの機会があれば、参加してみたいと思いました。

平和行動 in 長崎参加者（敬称略）
岡村 信幸（U Aゼンセン）・岩下 慶子（U Aゼンセン）・堀田 正志（交通労連）・右田 直美（JAM）・富田 雅智（ゴム連合）・田尻 富子（熊本地協）・法花津 和明（菊阿地協）・森田 操（連合熊本）



ピースウォークの様子



平和行動in長崎参加者



集会会場の様子



献花・献水を行いました



平和記念像前にて



熊本地震緊急募金

と
も
に
支
え
合
い
、
復
興
の
力
に